

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	公立園幼保一元化推進事業		
事業担当	健康・こども部 保育課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	健康・安心・福祉力 その人らしく安心できる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	入所児童・地域住民	事業期間	平成25年度 ~ 平成29年度
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標	事業の概要	
	待機児童対策を視野に入れた認定こども園化を推進するためのモデル施設が整備されるとともに、公立幼稚園の認定こども園化が進められています。	モデル施設として港幼稚園と須賀保育園を統合して認定こども園化するとともに、公立幼稚園の認定こども園化を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	モデル施設の整備進捗率(平成25年度から平成28年度まで)			単位	%
	説明・算定式	平成28年度の施設の供用開始を100%とした、各年度の進捗率。基本設計20%、実施設計20%、工事着手30%、供用開始30%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標		20	40	70	
	実績		20	37		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況		: 予定どおり				
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
<p>庁内ワーキンググループでの検討結果を踏まえたうえで実施設計を概ね完成させました。 なお、建設工事にかかる人件費や資材等が急騰する中、入札に必要な所要額を入札直前の物価に合わせた適正な設計金額となるよう算定するため、設計委託の期間を延長しました。</p>						
平成26年度の検証結果	A : 成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	老朽化した港幼稚園と須賀保育園の建て替えが必要です。また、保育所の待機児童の状況を鑑み、保育にかかる定員を拡大する必要があります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	施設完成後は、認定こども園として新たな幼児教育・保育サービスを提供することができます。また、定員拡大は保育所の待機児童対策として有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	既存の保育所と幼稚園が提供するサービスを継続するためにも施設整備の重要性は高く、幼児教育と保育サービスを一つの施設で提供する認定こども園を整備することは人員配置上も妥当であると考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	二つの施設を合築することで建設コストの縮減を図ることができます。また、つどいの広場や学童保育を併設することで運営コストの縮減を図ることができます。	高中低
今後に向けた課題の分析 保育所と幼稚園が一体化することに関して、統一カリキュラムの検討等ソフト面や運営面においても検討を進める必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容			モデル施設の基本設計、幼保のカリキュラム統合に向けた検討	モデル施設の実施設設計、施設運営手法の検討	モデル施設の工事着手、条例・規則・要綱等の整備
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	440
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	130,000
	その他 特財	0	0	1,087	0
	一般財源	0	5,280	4,473	67,418
事業費 (A)		0	5,280	5,560	197,858
執行率 (%)		-	82.93	100.00	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 平成28年度中の施設完成を目指し早期に工事着手を進めます。 また、幼保の一元化に向けて、ハード面の整備だけでなくソフト面の検討も進めていきます。
課長コメント 保育所と幼稚園を合築し認定こども園とすることで、多様な幼児教育・保育サービスを提供するとともに、つどいの広場や学童保育を併設することにより多彩な子育て支援サービスの提供を目指します。